

(速報)消費生活相談の概要<2022年4月～2023年3月>

東三河広域連合消費生活相談センター・相談室

令和5(2023)年5月

令和4年度(2022年4月～2023年3月)に寄せられた消費生活相談件数は、4,154件でした。前年度と比べ、314件増加(8.2%)しています。一方、愛知県全体では約2.9%増、全国では約4.3%増となっています。

■相談者居住地別件数(表1-1)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	豊橋市	豊川市	蒲郡市	新城市	田原市	町村※	その他	計
2022年4月～2023年3月	2,137	996	407	202	279	27	106	4,154
構成比(%)	51.4	24.0	9.8	4.9	6.7	0.6	2.6	100.0
前年度	2,087	880	368	145	218	17	125	3,840
対前年度	件数(件)	50	116	39	57	61	△19	314
	率(%)	2.4	13.2	10.6	39.3	28.0	58.8	△15.2

※町村は設楽町・東栄町・豊根村の合計。その他は無回答とその他地域。

■相談窓口別件数(表1-2)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	総合センター	豊川センター	蒲郡センター	新城センター	田原センター	計	
2022年4月～2023年3月	2,219	1,027	411	221	276	4,154	
構成比(%)	53.4	24.7	9.9	5.3	6.6	100.0	
前年度	2,224	902	369	144	201	3,840	
対前年度	件数(件)	△5	125	42	77	75	314
	率(%)	△0.2	13.9	11.4	53.5	37.3	8.2

- 居住地別では、東三河広域連合の域内すべての地域で増加しました。
- 窓口別では、総合センターは減少、その他センターは増加しました。
- 全体件数が増加した要因としては、インターネット通販(1,032件→1,285件)と定期購入(312件→460件)が影響しています。なお、新型コロナ関連は減少(122件→86件)しました。

■相談者年代別件数(表2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計	
2022年4月～2023年3月	37	319	423	627	862	703	882	301	4,154	
構成比(%)	0.9	7.7	10.2	15.1	20.8	16.9	21.2	7.2	100.0	
前年度	27	308	374	654	823	575	818	261	3,840	
対前年度	件数(件)	10	11	49	△27	39	128	64	40	314
	率(%)	37.0	3.6	13.1	△4.1	4.7	22.3	7.8	15.3	8.2

○年代別では、40代が減少し、その他の年代が増加しました。

【内訳・詳細】

- ・「判断が不十分な方への契約」に関する相談は、109件で増加しました。(前年度84件)
- ・「未成年者への契約」に関する相談は、79件で減少しました。(前年度85件)
- ・「心身障がい者への契約」に関する相談は、190件で増加しました。(前年度146件)
- ・「SNSを活用した商品購入など」への相談は、378件で大きく増加しました。(前年度273件)
- ・絶対儲かると言われて、デジタルツールを購入する「情報商材」関連の相談は、45件で減少しました。(前年度63件)

年齢別相談件数
(各年4月～翌年3月)



■品目別相談件数(表3-1)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	商品計 ①	商品のうち主なもの				サービス計 ②	サービスのうち主なもの				他の相談計 ③	計 ①+②+③	
		保健衛生品	商品一般	教養娯楽品	食料品		金融・保険	教養・娯楽	運輸・通信	他の役務			
2022年4月～ 2023年3月	2,086	427	357	318	242	1,997	434	415	270	205	71	4,154	
構成比(%)	50.2	10.3	8.6	7.7	5.8	48.1	10.4	10.0	6.5	4.9	1.7	100.0	
前年度	1,847	286	348	268	270	1,902	394	430	273	199	91	3,840	
対前年度	件数(件)	239	141	9	50	△28	95	40	△15	△3	6	△20	314
	率(%)	12.9	49.3	2.6	18.7	△10.4	5.0	10.2	△3.5	△1.1	3.0	△22.0	8.2

①商品計は、2,086件(前年度比239件・12.9%)で増加しました。

商品分類では化粧品の定期購入に関する相談を含む「保健衛生品」が最も多く、427件(前年度比141件・49.3%)で大きく増加しました。次に「商品一般」が357件(前年度比9件・2.6%)で増加しました。増加率の最も大きいものは「保健衛生品」(前年度比141件・49.3%)、次いで「教養娯楽品」(前年度比50件・18.7%)でした。

②サービス計は、1,997件(前年度比95件・5.0%)で増加しました。

サービス分類では「金融・保険」が最も多く、434件(前年度比40件・10.2%)で増加しました。

■商品等別相談件数(表3-2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分(順位)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
2022年4月～ 2023年3月	商品一般	フリーローン・サラ金	賃貸7パート	役務その他サービス	携帯電話サービス	他の健康食品	乳液	修理サービス	電気	出会い系サイト・アプリ	
	357	193	111	91	82	80	73	71	70	61	
前年度	348	178	90	70	80	89	31	58	59	75	
対前年度	件数(件)	9	15	21	21	2	△9	42	13	11	△14
	率(%)	2.6	8.4	23.3	30.0	2.5	△10.1	135.5	22.4	18.6	△18.7

・美容液や美容・美白クリームなど「乳液」は73件(前年度比42件・135.5%)で大きく増加しました。

・サプリメントやダイエット食品など「他の健康食品」は80件(前年度比△9件・△10.1%)で減少しました。

・「出会い系サイト・アプリ」は61件(前年度比△14件・△18.7%)で減少しました。

■販売購入形態別相談件数(表4)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	店舗購入	店舗外取引に関する相談					店舗外取引計	不明・無関係	計	
		通信販売	訪問販売	電話勧誘販売	マルチ商法	その他				
2022年4月～ 2023年3月	931	1,572	331	205	33	49	2,190	1,033	4,154	
構成比(%)	22.4	37.8	8.0	4.9	0.8	1.2	52.7	24.9	100.0	
前年度	906	1,328	331	190	57	39	1,945	989	3,840	
対前年度	件数(件)	25	244	0	15	△24	10	245	44	314
	率(%)	2.8	18.4	0.0	7.9	△42.1	25.6	12.6	4.4	8.2

○店舗購入は931件(前年度比25件・2.8%)で増加しました。

○店舗外取引は2,190件(前年度比245件・12.6%)で増加しました。

【内訳・詳細】

- ・店舗購入では「賃貸アパート」に関する相談が66件(前年度45件)で最も多く、次いで「脱毛エステ」が48件(前年度5件)でした。
- ・店舗外取引では「通信販売」が1,572件(前年度1,328件)で最も多く、次いで、「訪問販売」が331件(前年度331件)でした。
- ・「通信販売」では「美容液」が51件(前年度15件)で最も多く、次いで「出会い系サイト」が46件(前年度54件)でした。
- ・「訪問販売」では「新聞」が30件(前年度29件)で最も多く、次いで「電気」が15件(前年度17件)でした。
- ・「電話勧誘販売」では「海産物」の相談が13件(前年度9件)で最も多く、次いでインターネットの「光回線」の相談が11件(前年度13件)でした。
- ・その他に含まれる「訪問購入」は35件(前年度31件)と増加しました。

東三河広域連合 住民生活事業部消費生活課
電話:0532-26-9077 令和5(2023)年5月

